

地域の自然を生かし、主体的な人を育てる森のようちえん

森のようちえんとは

「森のようちえん」とは、約50年前デンマークにはじまり、北欧、ドイツなどに数多く存在する野外保育型の幼稚園です。多くの森のようちえんが園舎を持たず、四季を通じて毎日こどもたちは森へ出かけていき一日過ごします。自然の中で遊ぶ体験は、こどもたちにより影響を与え、集中力、自主性、意欲、コミュニケーション力、

自信、独創性、免疫力、自然への親しみ、などが培养されています。

日本では、自然体験活動をベースにした子育て・保育、乳児・幼少期教育を森のようちえんと呼び、近年注目され広まっています。森だけでなくいろんなフィールドを舞台に、幼稚園・保育園・自然学校・育児サークルなどさまざまな団体が、毎日、定期、不定期にいろんな形で実施しています。



森のお花屋さん

森のようちえんでは、「自然の中でおもしろい遊ぶ」「主体性を尊重する」「こどもの力、感性、感覚を信じて引き出す」ことを大切にしています。

をかしやの森のようちえん

私たちは2008年12月より、今治市玉川町畑寺・光林寺で「今治版 森のようちえん」として、月に一度

の「森のてらこや」という森のようちえんをはじめました。森のてらこやには大きな特徴が二つあります。ひとつめは、幼児だけでなく、小学生、そして親（大人）も参加者として、異年齢のこどもと大人が一緒に遊ぶこと。昔は当たり前だったけれど今の時代減ってしまっている、「自然の中の遊び」、異年齢での

遊び、の機会を提供したいと思ったのです。「森のてらこや」のもう一つの特徴は、内容や遊びがきまつていないこと。毎回「自由遊び」が基本です。遊びは「自由」。やりたいことをやる。その遊びの中で、自然や人とのかわりから、こどもたちも大人も学んだり気づいたりしていきます。

「自然」の中の「自由」から人が育つ

森のてらこやには校訓があります。

「自由」：おもいつきりやりたいことをやる。ただし、守るべきこともある。「自分になる」：肩書き、殻を脱いでほんとうの自分自身になつて楽しむ。

山、田んぼ、境内というフィールドには遊具などはなく、けもの道探検、かくれんぼ、鬼ごっこ、



よろず体験事務所
をかしや

菊間 裕子
(たま)

こどもも大人も本気でお相撲

木登り、チャンバラ、泥あそび、いきもの探し、お店屋さんごっこ、など、その日その時のいろんな遊びが展開されていきます。それぞれがやりたいこと、を思いきりやる中で、みんなのびのびといひ笑顔になってきます。

自然の中での遊びは発見・チャレンジ・創造の連続です。そんな中で意欲・自信・感性が育ちます。山登りなどはやるたびにどんどん上手くなります。小さくなつてきながら危険について知り、大きなケガをしないよう考へて行動できるようになります。

「積極的になり、自信を持つようになった」「本来のこどもらしさが出てきた」「自分のことを自分でしたり、お手伝いをするようになった」

参加者の声からは、こどもが確実に成長しているのうかがうことができます。そして変わっていくのはこどもだけではありませ

ん。「親になり、知らず知らずの内に、こうあるべき」とか固まっていた自分が、自由さを取り戻している「思いきり遊んでこどもの頃を思い出し、スッキリして元気が出た」「こ



田んぼで泥んこ遊び



チャンバラ

どもの「自分で生きる力」を感じ、こどもに対する接し方が変わった」

自然の中での自由な場は、こどもにも大人にもとてもよい変化をもたらしているようです。

自分で考え、主体的に積極的に楽しむ人、ありのままの自分を受容できる人。

「森のてらこや」は、そんな人を育むための、自由で楽しい、遊びをととした学びの場になっているのです。

地域の自然をいかした体験の場づくりの可能性

昔のこどもたちにとっては当たり前前の遊び場であった「地域の自然」が、今の世代にとつてはとてつもない場所になっていきます。たとえ自然が近くにあつてもその中で遊んだ「経験」がなければそこから学ぶことはできません。親世代に自然体験が少なくなつた現代では、そういった学びの「場」を意識的に作る必要があります。

しかしフィールドの魅力を調査し、場所・参加者に適したプログラムを企画したり、危険を把握し安全管理をしたり、参加者が心地よく過ごせる「場」をつくり運営したり、ということには専門的な技術が必要です。私たちは森のようちえんを運営するだけでなく、自然体験活動全般に関する指導者養成も行

い、多くの方が自然体験活動を安心して実施するためのお手伝いもしています。

愛媛には豊かな自然があり、そこは絶好の遊び、学びのフィールドです。山、林、川、田畑、海辺など、森のようちえんとなりうる場所はたくさんあります。何も無いように見える「地域の自然こそが、何でもできる素晴らしいフィールドなのです。未来の人を育てながら、地域に人を呼び賑わいや交流を作ることが出来る森のようちえん。

愛媛の豊かな自然をいかし、こどもも大人も自然の中でいきいきと育つていける場が増え、たくましく主体的に楽しく生きられる人が増えていくといいなと思います。



急斜面を駆け下りる